

エコシティ ごみゼロ版

第4号
ゴミゼロ
 EcoCity 530 Vol.4

減らそう！使い捨てプラスチック

今、不適切な処理やポイ捨てなどによって**海に流出するプラスチックごみ（海洋プラスチックごみ）**が世界的な問題となっています。世界では年間800万トン、1分間にゴミ収集車1台分のプラスチックごみが海に流出しているといわれ、海鳥やウミガメなどの生物への影響も報告されています。この地球規模の問題に対応するため、各国でレジ袋規制などの取組が進められています。

日本ではほとんどのプラスチックごみが、リサイクルや焼却、埋立てなどで適正に処理されていますが、1人当たりの使い捨てプラスチックの使用量が世界で2番目に多く、人ごとではありません。そこで、**使い捨てプラスチックを減らす方法**を紹介します。

○レジ袋

マイバッグを持ち歩き、必要以上のレジ袋を断る



市内のお店では、**レジ袋の有料化や辞退者への割引**などを実施しているところがあります。また、7月からは全国一律で有料化される予定です。

■市内スーパーの取組状況

事業者	取組
カスミ	有料販売1枚5円
とりせん	辞退者2円引き
フレッセイ	辞退者2円引き
ベルク	辞退者2円引き
ヤオコー	辞退者2円引き
ケンゾー	辞退者ポイント付与

○飲料容器（ペットボトルなど）

マイボトルを利用し、ペットボトルやプラスチック製カップの使用を減らす



市内のコーヒーショップなどでは、**持参したタンブラーやカップに飲み物を入れ、割引するサービス**を実施しているところがあります。

○ストロー

- ・プラスチック製ストローをなるべく使わないようにする
- ・紙やアルミなどの代替製品のストローを使う



例えばアルミ製ストローは、洗えば**繰り返し使え**、マドラーとしても使えます。また、冷たい飲み物をよりひんやり飲むことができます。

内陸の群馬県だと海は遠い存在かもしれませんが、風や雨によって川に流れたごみが海に運ばれることもあります。使い捨てプラスチックを減らすことに加え、分別することやポイ捨てをしないことも大切です。





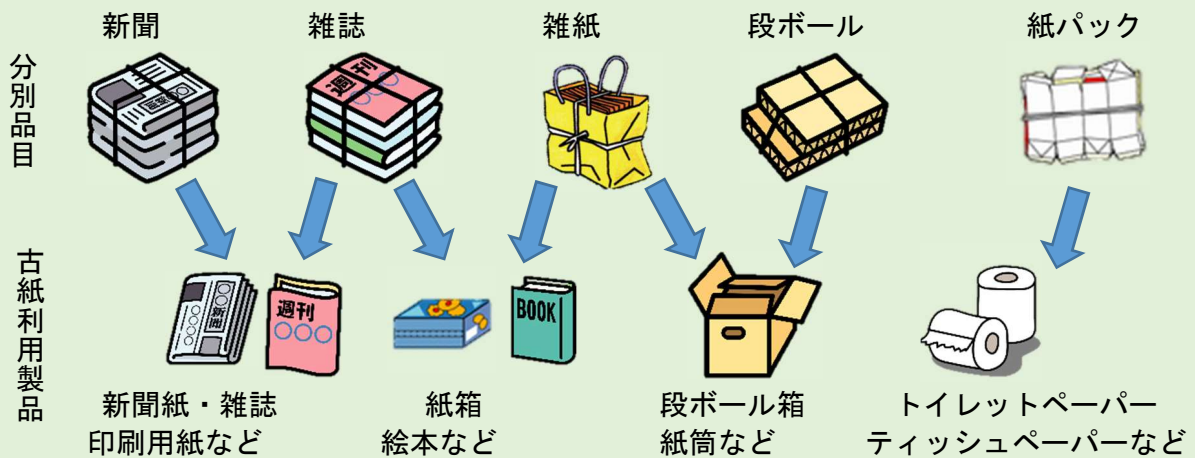
現場からの声

紙類は品目ごとに分別し、異物を混ぜないでください！

品目ごとに分けて、ひもでしばってください

新聞、雑誌、段ボール、紙パックなど、紙類は種類ごとにそれぞれ違う用途の紙にリサイクルされます。**品目ごとに正しく分別して、ひもでしばるか紙袋などに入れて**ください。品目ごとに分けることで買取価格がより高くなり、その分、市民サービスの向上につながります。

○紙類のリサイクル



異物（禁忌品）を混ぜないでください

紙の原料にならない異物（禁忌品）が古紙に混ざっていると、リサイクルの妨げとなります。混ざらないように分別をお願いします。

○異物の例

- ・プラスチック製品
- ・ファイルの金具
- ・セロハン
- ・粘着テープ類
- ・布製品
- ・金属クリップ類
- ・ガラス製品



紙類に混ざったプラスチック類などの異物

羽毛布団のリサイクルを始めました

12月中旬より、たてばやしクリーンセンターに搬入された**羽毛布団の資源化**を開始しました。業者に売払い、洗浄や解体をした後に取り出した羽毛を再生し、布団として再利用されます。なお、布団の出し方には変更ありません。

発行者

館林市役所 市民環境部 地球環境課 資源対策係

〒374-8501 館林市城町1番1号

電話 0276-72-4111（内線 456・457）

エコシティ〜ごみゼロ版〜